

富良野市教育委員会だより

## ZEROふらの

発行：富良野市教育委員会  
住所：富良野市若松町5番10号  
電話：0167-39-2320  
FAX：0167-23-3528  
Email：kyouiku-ka@city.furano.hokaido.jp

## 教育委員の紹介

任期：平成28年6月18日～令和2年6月17日



津山正樹 委員

令和元年もあとわずか。今年をふりかえってみると、日本開催の「ラグビーW杯」で、史上初の決勝トーナメント進出に日本中が熱狂した「ラグビー一年」ではなかっただろうか。

俄かラグビーファンである自分であるが、「ラグビー」で思い出すのが、次男坊のラグビーの活躍だ。彼らが富小6年の頃（自分が富小P会長の頃）、鳴り物入りで挑んだ「本業」真夏の剣道の全道大会に敗れ、目標を失った息子はラグビーの道を選んだ。当時の校長と一緒に、全道大会に応援に行った時の事を思い出す。当時の富良野小はダントツの強さで全道優勝し、全国大会（秩父宮）への出場を決めた。その晩、富良野市内の某居酒屋に父兄代表として呼びだされ、行ってみると、学校、親御さんのみならず、元ラグーマンの北市長（当時は議員）、富高校ラグビー部監督を始めとする「富良野ラグビー協会」の（怖い）面々がずらりと待ち構えており、私を囲み「全国制覇の応援に秩父宮に一緒に行きましょう。ついては是非ご寄付を！」と誘われた。「たかが」と云ったら叱られるが、小学生の大会の為に当時の協会や高校ラグビー部の面々が、一丸となって指導、協力頂いていた事を、自分はこの時初めて知った。まさに「ONE TEAM」ではなかったか。結局、息子のチームは、全国大会では惜しくも敗れ、俄かラグーマンの息子は本業の剣士に戻ったのだが。

「2019 ユーキャン新語・流行語大賞」の年間大賞に『ONE TEAM（ワンチーム）』が選ばれた。ご存じラグビーW杯日本代表のチームスローガンである。「ワンチーム」とは、言葉だけではなくその過程や精神が大事なのだろう。「ワンチームが社会に浸透していく事は嬉しいけど、どういう風にワンチームにするかが大事。中身の部分をしっかり考えて使ってもらった方がいいかなと思う。」と堀江選手がコメントしたという。言葉はシンプルだが、なかなか実践できることではない、奥が深い重みのある、素晴らしい言葉だと受け止めた。

これからの時代は、子供達にとっても大人達にとっても、ますます変化の激しい、複雑な時代であるだけに、私達も、教育委員会、学校、地域が一体となって、真の意味での「ONE TEAM」で、富良野の教育の充実と発展のために、共に尽力していければと思う。

今後とも精進してまいりますので、皆様の御指導の程を、宜しく願い申し上げます。

## 教育委員の紹介

任期:平成30年7月1日～令和4年6月30日



菅野義則 委員

平成26年より教育委員となり皆様の御指導をいただきながら5年目を務めさせていただいております。この5年間で自分なりに一言で表すとすれば「子供は大人の鏡」という事だと思います。

親に限らず全ての大人の行動が子供達に与える影響は大きく、その人格、思考、言動に大きな影響を与えているという事を私のみならず全ての大人が日々感じ、思っている事と思います。しかし残念な事に毎日のニュースや新聞で報じられている様な事柄は「そんなことの判断は子供達でもわかるのでは」という事を多くの大人が、その判断を自分の都合の良い解釈のままで起こしているようです。子供達よりも多くの経験と知識をもっているはずの私達ですが、かえってそれが正しい判断を誤った方向へおかわせているような気さえしてしまいます。少し先を生きる者として、今一度その経験と知識をどう生かすかという事を整理する必要があるのではないのでしょうか。

「主体的、対話的で自ら未来を拓く力」私達大人も一緒に学び次世代に何を残していかなければという事を、今真剣に考えなければ未来の子供達の笑顔を消してしまう事になりはしないのでしょうか。

「次世代のために何ができるか」これからもこれが富良野の教育の基本でありつづけていただきたいと願いながら活動を続けていきたいと思っております。

## 教育委員会の活動

### 市町村教育委員会新任委員研修会

令和元年11月19日(火)札幌市:北海道庁別館 近内教育長・津山委員・渡邊委員出席

◎教育委員の役割と学校訪問の見方について・・・北海道教育委員会元教育委員 鶴羽 佳子氏

◎教育委員の役割・・・北海道教育委員会教育委員 橋場 弘之氏

◎今日的な教育課題の解決に向けて教育委員に求められることは何か

北海道立教育研究所所長 北村 義春氏

鶴羽さんの2期8年の教育委員としての経験談や、橋場さんの現在の教育委員の役割など説明があり、北村所長からは、今日的な教育課題の解決に向けた取り組みなど実りのある研修でした。



## 教育長通信 ～不寛容といわれる時代に大切な事～

本格的な情報社会が到来し、個人の情報発信が簡単になるとともに、自由に意見を述べることができる社会となりましたが、その反面、他人の失敗を許さない、自分と異なる考えの人を排除する、話し合いの場すら設けず一方的に相手を非難するなどの行為が増えてきており、不寛容の時代ともいわれています。代表的なものとしては、SNS上でのいじめや嫌がらせ、炎上騒ぎ等が挙げられますが、個人の安易な書き込みが事件・事故に発展するケースも増えており、情報社会の負の側面が表われているように思います。

これら無くすには、視野を広く持ち、相手に対して思いやりの心を持ち、おやみに人を責めない心が大切であると思います。不寛容ではなく、寛容の心です。自分に対して謙虚であり、他の人に広い心で、敬意を払い、相手に接することが大切です。そして、コミュニケーションを取れる場づくりや、互いに理解し合う努力、折り合いをどの様に付けるかが大切だと思えます。

人口減少・少子高齢化が加速度的に進み、子ども・子育て及び教育の環境づくりに向けた課題は山積ですが、地域・家庭・学校・行政が連携を一層深め、地域ぐるみで子どもたちを育むための話し合いの場づくりに努めていきたいと思えます。

### 教育委員会会議録（令和元年10月～令和元年12月）議題一覧より抜粋

- 10月29日（火） ○議案第1号 富良野市立樹海小学校及び樹海中学校の廃止について
- 議案第2号 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について
- 議案第3号 富良野市青少年表彰規則に基づく令和元年度表彰者の決定について
- 11月23日（土） ○議案第1号 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について
- 議案第2号 富良野市保育所第三者委員の委嘱について
- 12月16日（月） ○議案第1号 富良野市子ども・子育て会議委員の委嘱について
- 報告議案第1号 令和元年度富良野市一般会計予算の補正報告（専決処分）について

定例会は傍聴もできますので、教育委員会に事前にご連絡ください